

◆ 第5次片品村総合計画（案）への意見内容と意見に対する村の考え方 ◆

「第5次片品村総合計画」の策定にあたり、村民等の皆様からのご意見を募集したところ、2名の方からご意見をいただきました。
お寄せいただいたご意見並びに、村の考え方をまとめましたので、お知らせいたします。
なお、計画に反映できない後提言・ご意見等につきましては、今後の施策の参考にしてまいります。大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

パブリックコメント実施手続結果の概要

- 1
- 意見募集期間
- 令和7年12月23日（火）から令和8年1月14日（水）
- 2
- 意見提出者数
- 2名
- 3
- 意見内容及び回答
- 次のとおり

No.	項	意見内容	意見に対する村の考え方	修正有無
1	97	防災（97ページ）の関係に「個別避難計画の策定」を載せた方が良いと思います。	ご意見のとおり、第1部第2章「4 現代社会が直面する問題や変化」、第3部第2章「2-2-1 地域福祉」、第3部第4章「4-2-2防災」において、それぞれ“個別避難計画”について具体的に記載し、高齢者等の災害時支援の体制づくりを進めていく計画としていきます。	有
2	－	<p>私は、片品村が持つ「自然」「人の営み」「静けさと厳しさが共存する環境」に強い価値を感じ、この地に移住しました。移住者の一人として、本総合計画案に意見を述べます。</p> <p>本計画は、尾瀬をはじめとする豊かな自然環境を基盤に、観光・定住・デジタル化・地域福祉などを総合的に捉え、将来像を描こうとしている点において、方向性として大きな可能性を感じました。一方で、いくつかの点について、今後さらに踏み込む余地があると考えます。</p> <p>1. 自然資源を「消費」から「価値創造」へ</p> <p>計画では、片品村の強みとして自然環境や観光資源が明確に位置付けられていますが、それらが依然として「訪れて消費される対象」に留まっている印象を受けました。</p> <p>今後は、自然を単なる観光資源として扱うのではなく、心身の回復、学び、創造性を育む場として再定義する視点が重要だと考えます。</p> <p>例えば、自然環境を活かした滞在型プログラムや、アート・音楽・思想・身体性をテーマにしたリトリート、創作活動の拠点づくりなどは、短期的な観光客ではなく、片品村に継続的に関わる「関係人口」を生み出す可能性があります。</p> <p>2. デジタル化は「効率化」だけでなく「関係性の拡張」に</p> <p>デジタル田園都市国家構想との連携が示されていますが、行政手続きや利便性向上にとどまらず、村と村外の人々をつなぐ関係性の拡張に活用してほしいと考えます。</p> <p>オンラインを通じて片品村の自然、文化、人の営みを発信し、リアルな体験と循環させることで、距離を超えて片品村と関わる人を増やすことが可能です。</p> <p>「住民か観光客か」という二分ではなく、その間にある多様な関わり方を設計することが、これからの地方には必要だと感じています。</p> <p>3. 若者・クリエイターが「選ぶ村」になるために</p> <p>若者の定住・雇用創出について触れられていますが、より具体的な「なぜ片品を選ぶのか」という理由づくりが必要だと考えます。</p> <p>自然環境と相性の良い創造的な仕事（音楽、映像、デザイン、研究、思想活動など）を受け入れる土壌を整えることで、「稼ぐために都市へ行く」以外の人生の選択肢を提示できる村になる可能性があります。</p> <p>片品村は、効率やスピードを求める場所ではなく、深く考え、創り、生き直す場所としてのポテンシャルを持っています。</p> <p>その価値を正面から打ち出すことが、他地域との差別化につながると考えます。</p> <p>4. 「交流人口」から「関係人口」への明確な転換</p> <p>計画全体を通して、「交流」や「人の流れ」が重要視されていますが、今後はどれだけ深く関わる人が増えたかという視点での評価軸も必要ではないでしょうか。</p> <p>一度訪れて終わる関係ではなく、何度も訪れ、関わり、考え続けてもらえる村へ。</p> <p>そのためには、片品村の物語、人、暮らしの背景を丁寧に伝える仕組みづくりが重要だと考えます。</p> <p>結びに</p> <p>片品村の価値は、自然そのものだけでなく、その中で積み重ねられてきた人の営みにあります。</p> <p>本計画が、単なる施策の積み上げではなく、「片品村とはどんな場所なのか」「どんな生き方を許容する村なのか」を内外に伝える指針となることを願っています。</p> <p>外から人を呼ぶ計画であると同時に、深く関わる人を育てる計画へと進化していくことを期待し、意見とします。</p>	自然環境や関係人口の創出など広範囲に渡る貴重なご意見として賜り、今後の諸事業を進めていくうえでの参考とさせていただきます。	無